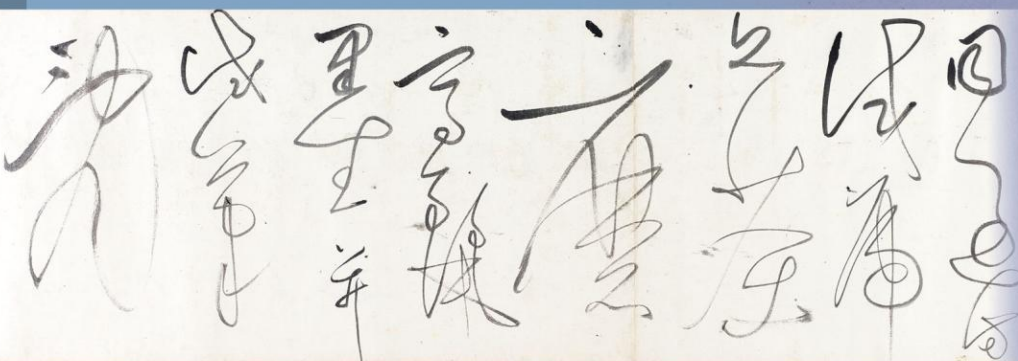
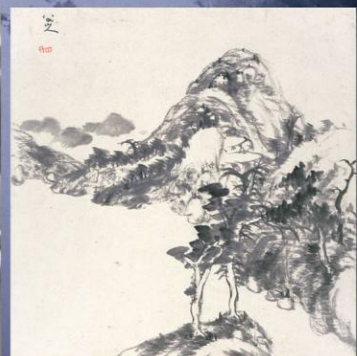




東京国立博物館・台東区立書道博物館 連携企画

明末清初の書画

Late-Ming and Early-Qing Calligraphy and Painting



明末清初の書画 —— 乱世にみる夢 ——

Dreams in a Time of Turmoil:
Late-Ming and Early-Qing Calligraphy and Painting

2026年
1月1日(木) 13時 ~ 3月22日(日) 前期 1月1日(木) 13時~2月8日(日)
後期 2月10日(火)~3月22日(日)

TNM 東京国立博物館 (東洋館8室)
TOKYO NATIONAL MUSEUM

開館時間 9:30~17:00 (入館は閉館の30分前まで)
※1月1日(木・祝)は13:00~17:00
※金・土曜日、1月11日(日)、2月22日(日)は
20:00まで開館

休館日 月曜日、1月13日(火)、2月24日(火)
※ただし、1月12日(月・祝)、
2月23日(月・祝)は開館

観覧料 一般 1,000円
大学生 500円

- 高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の
方は無料です。入館の際に年齢のわかるもの
(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示
ください。
- 障害者とその介護者各1名は無料です。入館の
際に障害者手帳等をご提示ください。

【住所】東京都台東区上野公園13-9
【電話】050(5541)8600(ハローダイヤル)
【ウェブサイト】<https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館までの交通機関
JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅 千代田線根津駅、
京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

明末清初の書画 —— 八大山人 生誕400年記念 ——

はち だい さん じん
The 400th Anniversary of Bada Shanren's Birth:
Late-Ming and Early-Qing Calligraphy and Painting

2026年
1月4日(日) ~ 3月22日(日) 前期 1月4日(日)~2月8日(日)
後期 2月10日(火)~3月22日(日)

書道博物館
CALLIGRAPHY MUSEUM

開館時間 9:30~16:30
(入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日、1月13日(火)、
2月24日(火)
※ただし、1月12日(月・祝)、
2月23日(月・祝)は開館

観覧料 一般・大学生 500円(300円)
高・中・小学生 250円(150円)
()内は20名以上の団体料金

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、
特定疾患医療受給者証の提示者とその介護者は無料
です。
- 毎週土曜日は台東区在住・在学の小、中学生とその
引率者が無料です。

【主催】(公財)台東区芸術文化財団
【住所】東京都台東区根岸2-10-4
【電話】03(3872)2645
【ウェブサイト】
<https://www.taitogeibun.net/shodou/>

書道博物館までの交通機関
JR鶯谷駅北口より徒歩5分、台東区循環バス
「北めぐりん」③書道博物館より徒歩3分

※会期・開館日・開館時間・展示作品・展示期間・関連イベント等については、変更する場合があります。最新情報は各館ウェブサイト等でご確認ください。

左上:行草書羅漢贊等書巻 董其昌筆[部分]
明時代・万曆31年(1603)
高島菊次郎氏寄贈 東京国立博物館蔵
東京国立博物館で後期展示

中央右:乙亥画冊 八大山人筆
清時代・康熙34年(1695)
武者小路実篤記念館蔵
台東区立書道博物館で通期展示

明末清初の書画

Late-Ming and Early-Qing Calligraphy and Painting



明時代の末から清時代の初めにかけては、単なる王朝の交替にとどまらず、歴史的な大転換期でした。異民族である満洲族が漢民族を支配する清王朝を樹立したことで、社会は激しく揺れ動き、政治的な動乱と文化的な変革が交錯する、複雑で劇的な時代が訪れたのです。

明末には、伝統的な儒教観からの脱却を目指し、個性の解放を追求する急進的な陽明学派が広まり、文芸や書画において精神表現の重視が強調されるようになっていました。そうした中、明の滅亡という未曾有の国難に直面した知識人たちは、「抗清」か「順清」かという厳しい選択を迫られました。前者を選べば死が、後者を選べば懐柔と統制が待つという過酷な状況下で、いずれの道を選ぶにせよ、名節を重んじようとした彼らの内面的な生き様は、人品気節として作品に色濃く反映されました。このような精神風土が、多くの個性的な人物を輩出する土壌となったのです。

東京国立博物館と台東区立書道博物館の連携企画第23弾は、明末清初の激動の時代を取り上げます。動乱期にあって、明王朝に殉じた烈士、清王朝に抵抗し明への忠節を尽くした遺民、清に降伏して明と清の両王朝に仕えた武臣など、彼らはそれぞれに波乱の人生を歩みました。文人たちが苦悩の末に行き着いた境地、そしてそれを受け継いだ後世の人びとの表現をご堪能ください。

▶ワークショップ「明末清初の書に挑戦！」

日時：2026年1月18日(日)、2月15日(日)、3月1日(日)
いずれも9:30～16:00(事前申込不要)

会場：台東区立書道博物館

要参加費(100円)



関連イベント

東京国立博物館

▶連携講演会「明末清初の書画」

植松瑞希、六人部克典(以上、東京国立博物館)
鍋島稲子(台東区立書道博物館)

日時：2026年2月14日(土) 13:30～15:00

会場：東京国立博物館 平成館大講堂

定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料 要観覧料

申込方法：東京国立博物館ウェブサイトの申込フォームからお申込ください。
申込はお1人につき1回までです(1回の入力で1名のみ申込可)。
申込期間：2025年12月19日(金)～2026年1月18日(日)

台東区立書道博物館

▶ギャラリートーク「明末清初の書画」

中村信宏、春田賢次郎、笹川元康(以上、台東区立書道博物館)

日時：2026年1月18日(日)、2月15日(日)、3月1日(日)

いずれも10:00、11:00、13:30、14:30(各回50分)

会場：台東区立書道博物館

定員：各回20名(事前申込不要、当日先着順にて整理券を配布)

要観覧料

▶夜桜漫談「明末清初の書画——董其昌と八大山人——」

富田淳(九州国立博物館)、鍋島稲子(台東区立書道博物館)

日時：2026年3月6日(金) 18:00～19:30

会場：台東区民会館 第2会議室(都立産業貿易センター台東館8F)

定員：150名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料

申込方法：書道博物館ウェブサイトの申込フォームまたは往復はがきでお申込ください。申込はお1人につき1回までです(1回の入力で1名のみ申込可)。
申込期間：ウェブサイト 2025年12月16日(火)～2026年2月10日(火)
往復はがき 2026年2月10日(火) 必着
【往復はがきの場合】「往信用裏面」に、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢を、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を明記し、下記までお申込ください。
申 込 先：〒110-0003 台東区根岸2-10-4 書道博物館イベント係

東京国立博物館 東洋館8室



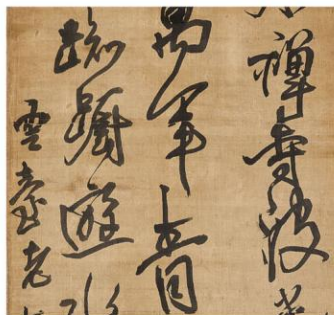
重要文化財 竹裡泉声図軸 李士達筆
明時代・16～17世紀
東京国立博物館蔵 前期



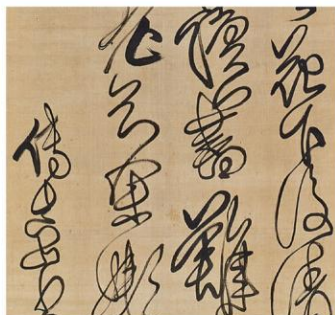
書画冊 倪元路筆
明時代・崇禎12年(1638)
高島菊次郎氏寄贈 東京国立博物館蔵 前期



江山臥遊図巻 程正揆筆[部分]
清時代・康熙元年(1662)
高島菊次郎氏寄贈 東京国立博物館蔵 前期

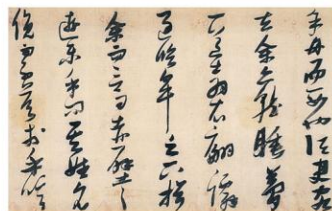


行書五言律詩軸 王鐸筆[部分]
明～清時代・17世紀
青山杉雨氏寄贈 東京国立博物館蔵 後期



草書五言律詩軸 傅山筆[部分]
清時代・17世紀
東京国立博物館蔵 後期

台東区立書道博物館



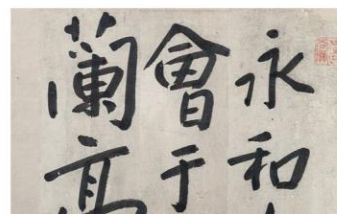
行書後赤壁賦巻 張瑞図筆[部分]
明時代・天啓3年(1623)
台東区立書道博物館蔵 前期



重要文化財 安晩帖 八大山人筆
清時代・康熙33、41年(1694、1702)
泉屋博古館蔵【展示期間：2/23～3/8】



山水図軸 黃道周筆[部分]
明時代・崇禎8年(1635)
京都国立博物館蔵 後期



行書臨河序六屏 八大山人筆[部分]
清時代・康熙39年(1700)
東京国立博物館蔵 前期



東坡詩序詩意図冊 石清筆
清時代・17世紀
大阪市立美術館蔵 前期